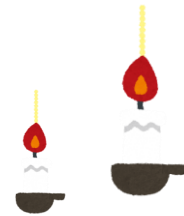


活動プロ A-3 (キャンプ活動) キャンドルファイヤー



キャンドルファイヤーは、ろうソクの炎を見つめながら歌やゲーム、スタンツ等を通して、友情・親睦を深める活動です。宿泊活動の中で最も楽しい、思い出に残る活動といえます。

1. 活動場所

◇キャンドルファイヤー

活動場所	人数	キャンドル代	個数
第1研修室	20～40名程度	500円	15個
中央ホール	30～50名程度	500円	15個
体育館	50～100名程度	1,000円	30個
総合活動館	70～120名程度	1,000円	30個

※活動場所は、利用指導研修会などにおいて同日利用団体責任者との話し合いにより調整します。

2. 準備

(1)準備物

自然の家 (中央ホール)	燭台+ろうソク、衣装一式、音響関係機器(アンプ1台)、CDラジカセ(1台)、手持ち用燭台(50)+ろうソク等
個人・団体	音楽・ゲーム用CD・テープ、音響関係機器(必要に応じて)等

(2)役割

(例)

- ・司会・進行(1～2名) 全体進行、雰囲気づくりなど
- ・火の神 (1名) 全員を代表する人(夜話)
- ・火のみこ (1名) 火の神の誘導
- ・火の守 (3名) 誓いのことば、点火



3. プログラムの展開例

※準備・・・・・・燭台のセッティングは係を中心に明るいうちに行う。

(1)火を迎える儀式・・・・・・入場→火の神入場(火のみこの誘導で会場を一巡:火の神→火の守の順)→火の神のことば→分火(火の守へ)→誓いのことば(火の守)→点火(火の守)

(2)交歓のつどい・・・・・・歌、ゲーム、ダンス、スタンツ等

(3)火を送る儀式・・・・・・司会者の話→火を送る(ろうソクに火を移し見送る)→退場

※キャンドルファイヤーを実施する場合は、中央燭台(※写真1)または手持ち燭台を使用する場所(床面)に必ずシートを敷きます。

①静かに火を迎える
(入場) / 10分

②火を囲んで楽しく交歓する
(歌、ゲーム、ダンス等)

③静かに火を送る
(退場) / 10分

60～70分